

# 資料寄贈のお願い

しょうけい館では、戦中・戦後の戦傷病者及びそのご家族の労苦を伝える資料の収集・保存・展示を行っております。

これまでも、全国の方々から、多くの実物資料や図書をご寄贈いただきましたが、現在も資料収集を行っております。

これらの実物資料や図書を所蔵されている方がおられましたら、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。 (収集資料の一例は裏面参照)

ご協力をいただける方は、まずは、しょうけい館までその旨ご一報下さい。

ご寄贈資料は資料の登録整理等の手続きが済み次第、館内情報検索コーナーのパソコンにてご紹介しています。

多くの方からの情報をお待ち申し上げます。

## 〈資料の受付にあたって〉

●名称や点数や大きさ、使用年代などの状況を確認させていただいた上で、受入方法など詳細については担当者から連絡させていただきます。

●資料が大型あるいは大量にある場合には、別途ご相談させていただきます。

●なお、収集済みの資料や、また当館の趣旨にそぐわないものについては、ご意向に沿いかねる場合がございます。

〒102-0073

東京都千代田区九段北1-11-5  
グリーンオーク九段2階

(TEL) 03-3234-7821

(FAX) 03-3234-7826

## ★ このような資料を探しています。(一例)

### 戦中の労苦を伝える資料

#### 1. 戦傷病者の受傷病の様子を伝える資料

- ①負傷当時身につけていた物品（被弾痕や血痕のある衣類、軍装品、摘出弾 など）
- ②戦中の受傷病の様子を伝える当時の記録資料（受傷や罹病の証明書類、従軍メモ など）

#### 2. 戦傷病者の治療・療養の様子を伝える資料

- ①戦争中の軍の医療器具（治療器具、薬品類 など）
- ②戦傷病者に戦争中に支給された物品（義肢・義眼・補装具、杖、優待券、慰問品 など）
- ③治療・療養の様子を伝える記録資料（診断書、病床日誌、療養記録 など）
- ④職業訓練・社会復帰の様子を伝える資料（リハビリ用器具、訓練日誌、表彰状 など）

### 戦後の労苦を伝える資料

#### 3. 治療・療養の様子を伝える資料

義肢・義眼・補装具類、断端袋、靴、杖、その他日常生活で活動しやすいように工夫して作った器具や衣料、症状経過書、患部の写真、療養記録・写真・日誌 など

#### 4. 社会的・経済的な労苦を伝える資料

職業訓練や就労に関する記録や写真 など

#### 5. 精神的な苦勞を伝える資料

手記・日記、短歌や俳句、戦傷病者相談員の相談記録 など

●以下の記録資料は、上記の内容を伝えるものであれば、とりわけ広く収集しています。  
例えば、写真、絵画、書画、スケッチ、日記・手記・メモ、手紙・葉書、体験記(自分史)  
短歌や俳句などの作品 など

\* ご寄贈いただける資料がございましたら、以下をご記入の上、当館までご一報ください。

お名前	様	電話番号	
ご住所			

お持ちの資料の概要（名称・種類・数量・使用年代・使用状況・保存状態 など）